

『北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター年報』 を発行するにあたって

著者	小田 史郎
雑誌名	北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター年報
巻	1
発行年	2010
URL	http://id.nii.ac.jp/1136/00001408/

『北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター年報』を発行するにあたって

北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター

センター長 小 田 史 郎

北方圏に位置する地域では、冬期間における積雪寒冷気候や日照時間の短縮によって運動・スポーツ活動が制限されるという共通の課題を抱えています。北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センターは、こうした地理的ハンディキャップの中で生涯スポーツ社会を構築するという課題に対して、実践的な研究を通じて解決を目指す機関として発足しました。

平成16年度～20年度の第1期研究においては、文部科学省の私立大学学術研究高度化推進事業「学術フロンティア推進事業」の選定を受け、「北方圏における生涯スポーツ社会の構築に関する総合的研究」のテーマのもと、地域スポーツクラブ研究分野、寒冷地スポーツ推進研究分野、競技者育成研究分野、体力向上研究分野、体験活動研究分野、食育推進研究分野の6研究分野より学際的な共同研究を実施しました。5ヵ年の研究成果は平成21年5月に文部科学省に報告したほか、平成22年3月には叢書『北方圏における生涯スポーツ社会の構築』（響文社）を刊行しました。また専門学会や学術雑誌だけでなく、スポーツの実践を通じた成果公表が多かったことも、本研究プロジェクトの特徴であったといえます。平成19年10月には、総合型地域スポーツクラブ「北方圏生涯スポーツ研究センタースポーツクラブ（愛称：スポルクラブ）」を設立し、地域住民が積極的にスポーツ活動を実践できる体制を整えることができました。

平成21年度からの第2期研究では、スポーツマネジメント研究分野、競技スポーツ研究分野、健康スポーツ研究分野、トータルサポート研究分野の4研究分野に再編成し、新たなプロジェクトテーマである「北方圏における生涯スポーツの振興に関する総合的研究」に取り組んでおります。ここではスポルクラブを基盤とした地域住民を対象とした研究活動を継続して行うだけでなく、北海道全域のスポーツ振興を推進するための研究活動を新たにスタートしました。広大な面積を持つ北海道において、特に遠隔地域では人的資源や情報などソフト面での不足が課題としてあげられます。こうした課題を解決すべく、各市町村等や外部団体とのネットワーク構築に向けた積極的な活動を展開しています。北方圏生涯スポーツ研究センターでは、北海道を研究基盤としながら北方圏地域の生涯スポーツ文化の創造・形成に貢献できる研究活動を続けていきたいと考えております。

さらなる研究活動を発展させるには、多くの方に本研究センターの取り組み等についてご理解いただき、様々な場面で協力・連携することが不可欠です。こうした背景のもと、本研究センターの取り組み内容やその成果を紹介する年報を発刊することができました。本年報が、北方圏で暮らす人々の豊かな生活に向けての情報提供の場となり、スポーツ専門誌として高い水準の学問研究を追究できる場になれば幸いです。これまで本研究プロジェクトの遂行にあたり、ご協力をいただきました多くの皆様に心よりお礼申し上げますとともに、今後のご支援のお願いし、発刊の言葉といたします。